

# 12月定例会

## 輝くふるさと常任委員会

### 質疑



#### 負債農家支援の 利子補給制度とは

**問** 債務負担行為（翌年度以降の歳出の根拠を議会で承認する。）が3件追加されましたが、その内容は何か。

**答** 昨年から引き続き農業資材、飼料等価格高騰に対して、負債農家の救済のために農協が農家に資金を貸したとき、利息の半分を町が補助するものです。

7月から全農家を巡回し、情報収集したところ、資金対策の要望が強いことから、農協が融資を実行し管内の市町村では2分の1の利子補給をすることにしました。21年1月から農協

で、申請を受け付けます。この事業の支出は21年度に予算化されます。

#### 資金を利用して営農負債を管理し基盤再構築を!

- 農業資材・飼料等価格高騰緊急対策資金利子補給事業
- ・内容 新しいわて農協が農業者に貸し付ける融資について、利息の半分について助成する。
  - ・2月27日までの申込で5年償還は、年率2.25%（総枠7千万円）
  - ・4月30日までの申込で3年償還は、年率1.5%（総枠3千万円）
  - ・利子補給割合 町が年率の2分の1を助成します。
  - ・事業申込 21年1月～ 新しいわて農協
  - ・問い合わせ 農林環境エネルギー課又は農協
- ※国の制度資金もご相談ください。

#### ぬくもり助成事業は 実質一世帯八千円に

**問** 今年度のぬくもり助成事業はどのような形で行うのか、商工会との連携はどうか。

**答** 町のぬくもり助成事業は、六千円だが、社会福祉協議会が同じ事業を実施して二千円を支給

し、対象者には昨年と同額の八千円が支給になります。商工会とも連携し、くずまき商品券で支給されますので灯油のほかに日常生活用品なども買うことができます。



1月6日から受付しています。対象の人はお早めどうぞ。

#### 地域活性化・緊急安心 実現総合対策交付金とは

**問** 新規に予算化されている緊急安心実現総合対策交付金の交付基準と予算配分した事業は何ですか。

**答** 8月29日に政府の経済対策閣僚会議で地方公共団体が安心実現のために緊急的対策を取り組むように決定し、全国で260億円、各市

町村では、500万円から3000万円の範囲で交付され、人口・第1次産業比率・高齢化比率・財政力指数などの基準で算定された結果、葛巻町には、1500万円の交付金額でした。

#### 農地を有効利用する 農地集積高度化とは

**問** 担い手農地集積高度化事業の内容と、町内実績は。

**答** 今回の集積地は、小田地区です。農業の担い手が高齢により耕作できなくなった場合、自分の農地と借りている農地、両方が耕作放棄地になる場合があります。こういった土地を集めて利用しやすくして新しい担い手に耕作してもらいます。

今回新規が7・3ヘクタールで、合わせて25・1ヘクタールを4戸の農家で耕作します。町全体の集積は、農地3500ヘクタールに対して96・4ヘクタールで3%の集積率です。

## 輝くふるさと常任委員会研修レポート

### 研修日程 平成20年10月27日・29日／研修先 高梨乳業 東京都八丈島八丈町

#### 足腰の強い酪農郷作ろう

初日は（株）高梨乳業から岩手工場に勤務経験のある中村正幸常務取締役と浜口寛生産統括部第一生産部部長の出席をいただき、懇談会を開催しました。

相互の近況報告の後、次の①から③の質問項目を教示いただきました。



葛巻に詳しい中村常務、浜口部長

①乳業の現状と今後の展望について 現在、餃子の薬物混入が一段落したところに中国での牛乳へのメラミンの混入で消費者は何を信用していいのかがわからない状態である。

20年3月に30年ぶりに乳価が3円上がったが、価格転嫁は7割で、21年の3月にも10円の値上げをすることになっている。

今はお茶ブームで、値上げしただけ、さらに牛乳離れが進行しないか心配で、価格に転嫁できるかわからない状況である。今期10月からが難しい対応を迫られている。牛乳は、安売り合戦をしいられて、利益がない状態である。

②現経済下における貴社の取り組みについて メーカーでは加工品で少しの利益を出そうと考へ、自社では9月からマスカルポーネ、モッツェレラなどチーズの生産を始めました。

健康食品としての牛乳プームは下降きみで、これまで成分無調整が主流でしたが、乳脂肪率1.0〜1.8割の低脂肪乳が売れています。

③葛巻の酪農家に求められることについて 飼料を買い入れから作る酪農への転換期と思う。

生き残りをかけた生産者のコスト削減が必要です。自社も相場の覚悟で経営に当たります。飲用牛乳はいかにいいものを安定的に供給できるかが重要です。

産業は花き観葉植物栽培と沿岸漁業を基盤とし、商工では焼酎や、くさや加工、伝統工芸品の黄八丈などや観光関連サービス業となっています。

#### 議会の考え

全農、乳業メーカー、量販店の動きなど、作る側と売る側の現在の状況を理解したうえで原点に立ち返って飼料の増産、飼養管理等でコストを削減し、経営危機を乗り越えなければならぬと感じました。

町や議会も酪農の未来を守るために様々な取り組みを行っています。

#### 担い手育成に力を入れよう

2日目と3日目の研修は、東京都八丈島八丈町を訪問し、主に産業振興について教示いただきました。

八丈島は東京から南へ287キロ、飛行機で45分の位置にあり、人口8600人・4600世帯で面積70平方キロのまゆ型島の島です。平均気温18度、年間降水量3000ミリ亜熱帯気候です。



切り葉(レザーファン)を生産

八丈町も葛巻町も人口減少に歯止めがかからなく苦慮している産業に担い手を望む同じような悩みを抱えています。

研修を契機に両町で物産交流できないか検討をはじめました。（一人当たりの研修旅費公費負担は4万円）